

令和５年度大阪市イノベーション促進評議会 会議要旨

1 日時

令和５年１２月１２日（火曜日）１５時１５分～１６時４３分

2 場所

大阪イノベーションハブ（ＯＩＨ）、及びＷｅｂ

3 出席者

北岡委員長、岡委員、フォーリー委員、山本委員

事務局（米倉部長、馬越課長、栗村課長代理、林課長代理ほか）

4 議題

（１）大阪市グローバルイノベーション創出支援事業にかかる最近の主な取組みについて

（２）令和６年度のスタートアップ支援について

5 会議要旨

議題（１）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見があった。

[主な発言内容]

- ・ＫＳＡＣの取組内容は素晴らしいので、今後も深堀してほしい。
- ・国は大学発の研究成果の事業化支援として多額の予算を計上しており、大学だけではなく、自治体、民間企業、経済団体を巻き込んで大学発スタートアップの支援を進めていくことが重要な時期に来ている。
- ・多くのスタートアップが万博への出展を希望していると聞いているので、できるだけ多くの方に広報を行うことで、機運醸成の一助としてほしい。
- ・海外 VC が集まるようなスタートアップイベントに出展し、大阪のスタートアップについて情報発信を行うことは良い取り組みだと思う。
- ・スタートアップの資金調達額の KPI を達成し、目標を上方修正したことは素晴らしい。
- ・ディープテックへの投資が増えていることは、海外へ発信するにあたってとても良い数字になる。見せ方をうまくして、ディープテックが盛り上がっていることをうまく発信していけると良いのではないかな。

- ・ユニコーン創出に向けて、戦略やロードマップみたいなものがあればと思う。
- ・関西圏にこれだけユニコーンに近いものがあるということを明示していくことがすごく重要。
「エネルギー」は今見えるキーワード。

議題（２）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見があった。

[主な発言内容]

- ・大阪コンソーシアムの勉強会は、日本の大企業のスタートアップとの付き合い方の勉強会になっているが、スタートアップをどうグローバルするか、ユニコーンをつくるためという視点で考えた場合に、大学や、海外グローバル展開をしたことのある商社などを巻き込んでいく必要があるのではないか。
- ・エネルギー系のスタートアップにフォーカスしていくのであれば、特有のイベントや展示会があるので、そういったイベントに参加し、海外 VC 向けに PR を繰り返し実施すれば、関西圏にはエネルギーに特化した素晴らしいスタートアップが増えているという印象を与えることができるので、取り組まれてはどうか。
- ・シード期・アーリー期の支援も大事であるが、大阪コンソーシアムの目的が、ユニコーンの創出であったり、EXIT を何らかの形で達成していきながら、エコシステムを回していくということであれば、フォーカスしていくスタートアップの定義を考えた方がよい。
- ・長期的な目線で、女性のキャピタリストであったり、起業家を育成していく必要がある。
- ・ユニコーン企業や、グローバル企業の創出に向けて、大阪イノベーションハブの体制の構築が必要ではないか。